

# 令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人ほっと・すぺーす 21

## 1. 事業の成果

今年度も子どもの心の居場所作りを目的とした「子どもほっとラインもしもしにゃんこ 🐾」主体の事業を展開した。毎月第1日曜日に常設し、6月は事業周知・番号周知のために、9月は自死予防月間に合わせそれぞれ1ヶ月毎週日曜日に開設した。掛かってきた一本一本が子どもの心、命と向き合う大事なものだった。昨年までと違って電話が鳴り続けることは少なくなり、子どもたちにとって電話をかけるという事が日常的な行動でなくなってきたようだが、心の居場所として、今後もニーズのある限り開設していきたい。

また聴き手ボランティア養成講座は、基礎講座5回、実践講座2回合計7回開催した。第1・2回は公開講座として実施、講座参加者に好評だった。受講生は全講座受講することはできなかったが、昨年度の受講生が補講として参加し2名聴き手として養成できた。スタッフの継続研修も聴き手養成講座に準じ行い、日々の研鑽に努めた。次年度は、現スタッフの研修を充実させていきたい。

「子どもほっとラインもしもしにゃんこ 🐾」から見えた子どもの現状、心の叫びを「出前講座」を通じおとなに届け、知ってもらい、理解を深めてもらう活動も昨年から再開してきた。今年度の出前講座は18回、関わりを楽しみコミュニケーション力を高める講座を中心に、子どもへの向き合い方も一緒に考えてもらう場の提供をした。

いじめ認知件数、不登校の児童生徒数は過去最高の数となっている。虐待、貧困等々子どもをめぐる悲惨な報道も減らないままである。今後も子どもたちの健やかな育ちと子育て応援に、ほっと・すぺーす 21としてできることを精一杯支援していきたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子育て・子育て支援事業	○子どもほっとライン ・常設 (毎月第1日曜日)	4月～3月	松江市	のべ37人	県内の18歳以下の子ども不特定多数 同	490
	・6月9月毎週日曜日 開設	6月 9月	松江市	のべ20人		
	・広報 カード配布 ホームページ掲載	5月 8月 年間	県内全域	のべ30人 2人	県内の小学生～18歳以下の子ども全員	
	・聴き手養成講座	11月～ 3月	松江市	のべ15人	受講生・一般	
	・継続研修	5月～3月	松江市	のべ15人	ボランティアスタッフ	
○出前講座		6月他 18回	松江市他	のべ18人	関係団体・個人一般 790人	0
○ネットワーク		年間	松江市	2人	関係団体	2